

千葉市で観る!聴く!楽しむ!文化情報誌 “あでは”

@culturechiba

千葉市文化振興財団
<https://facebook.com/c.c.f.c.p>



SPRING
2023

Vol.423

Adelta

インタビュー

〈マリンバ・打楽器奏者〉

亀井博子

包み込むような音を奏でる
マリンバの魅力を伝えたい



MUSIC

ART

EVENT

多様性が生み出した「アメリカ音楽」の魅力

「カントリー・ミュージック」

千葉市内のイベントスケジュール



亀井博子

マリンバ・打楽器奏者／かめいひろこ

profile ●東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。第17回イタリア打楽器国際コンクールマリンバ部門第3位、第19回千葉市芸術文化新人賞受賞、第37回日本管打楽器コンクールマリンバ部門入賞、第27回日本打楽器協会主催打楽器新人演奏会にてグランプリ及び岩城賞受賞他受賞歴多数。音楽指導やTVドラマ「義母と娘のブルース」などの劇伴レコーディング参加など多方面で活動中。

包み込むような音を奏でる
マリンバの魅力伝えたい

マリンバ・打楽器奏者として、プロオーケストラなどでの演奏活動や指導を続ける亀井さんに、演奏や音楽への向き合い方やその魅力について伺いました。

マリンバを始めたきっかけと、音楽家として活動するまでの経緯を教えてください。

小学校3年生のときに、ドラムを習いたいという父とともにいった音楽教室でマリンバを見て、習うようになりました。エレクトーンや歌、ピアノなども小さい頃から習っていましたが、小学6年生からはマリンバ一本に絞り、ヤマハの教室と洗足学園音楽大学附属音楽教室に通いました。高校は音楽科、大学、大学院は音楽学部で、マリンバと打楽器を専攻し、在学中からお仕事として演奏活動を行っていました。

現在は、どんな活動を行っていますか？

コンサートやイベント、幼稚園や小学校でのマリンバ演奏とともに、プロオーケストラでの客演打楽器奏者としての活動を行っています。演奏活動を続けながら、音楽教育にも取り組んでいます。東京と千葉にある2つの幼稚園で音楽指導講師を務め、年間400名以上の子どもたちを指導するほか、マリンバ教室や、YouTube「亀井博子-マリびろチャンネル」を開設し、こちらでも音楽の楽しさを伝えています。



亀井さんの演奏には、どんな特徴がありますか？

「音楽を極める、マリンバや打楽器を極める」というのが学生時代からの私のテーマであり、「リズムや、音をもっとよくしたい、そのときの自分にできるいちばんの演奏をお客さんに届けたい」と思い活動しています。演奏するときは毎回、今日で最後かもしれないと思っています。そのせいもあってか、お客さんから、「あのときの演奏は素晴らしかった」と、何年も前の演奏を振り返って言われることがあります。人の記憶に残る演奏ができたと感じることは、本当にうれしいことです。

亀井さんが思うマリンバの魅力、音楽の魅力とは何ですか？

マリンバは、音が一番の魅力だと思っています。柔らかく響く独特の音で、温かみがあり包み込む様な音だねとよく言われます。マリンバを演奏していると、心が浄化されていくような感じがします。また、マリンバは、マレットと呼ばれる4本の撥（ばち）を使うことでメロディーとハーモニーを1人で奏でることができるので、「小さいオーケストラ」のようだとも思っています。

私にとって音楽とは、いい感情も悪い感情もすべて背負ってくれるものです。そして、言葉よりももっとたくさんのものを、さまざまな人に伝えられるものでもあります。マリンバと打楽器を続けることで、たくさんの人に出会い、自分自身が成長できました。これからまだまだ成長していきたいと思えるのも、マリンバと打楽器があるからです。

音楽家として目指すものと、今後チャレンジしたいことはありますか？

聴いてくれた人の心が、一秒でも心地よいものになればいいなと思いながら演奏を続けていき、また演奏を聴きたいと思ってもらえるような奏者になりたいです。そして、子どもたちにマリンバと打楽器の魅力や楽しさを伝えていきたいと思っていますので、今後は全国の小中学校などに出向いて、音楽を届けたいです。

ソロのイメージが強いマリンバですが、私は誰かと演奏するのが好きで、これまでも、ピアノはもちろんのこと、サクソ、ヴァイオリン、うた、ハーディングフェーレなど、さまざまな楽器とコラボレーションしてきました。違う楽器と演奏することで、マリンバという楽器の表情が変わるのです。今後は、ほかの楽器や音楽以外のジャンルとのコラボの機会を増やし、自分とマリンバの可能性を広げていきたいと思っています。

読者のみなさんにメッセージをお願いします。

手や足、テーブル、フライパンなど身近なものを使って打楽器のように音を刻むことができるので、生活に取り入れてみると、毎日が楽しくなるかもしれません。音楽を気軽に楽しんでいただけたらと思います。マリンバという楽器を知らない人もたくさんいると思うのですが、この記事を読んで少しでも興味を持っていただけたらうれしいです。私の演奏はYouTubeで聴くこともできますが、やはり生の演奏とは全く違います。イオン稲毛店文化ホール5/21（日）14:00開演の「ワンコインコンサート Vol.110うた・打楽器・ピアノで楽しむ!～親子わくわくコンサート～※」に出演しますので、お時間があればぜひ聴きにいらしてください。※一般500円 小学生以下100円。3/2（木）よりチケット発売。詳しくは、千葉市文化振興財団043-221-2411へ



多様性が生み出した 「アメリカ音楽」の魅力



「カントリー・ミュージック」

ヨーロッパ系移民が持ち込んだ音楽に、アフリカ系アメリカ人の音楽がミックスされて生まれた「カントリー・ミュージック」は、ジャズと並ぶ多様性を感じる音楽です。

アメリカの白人音楽の象徴

1920年代に発祥したとされる「カントリー(カントリー・ミュージック)」は、北アメリカの南北に延びるアパラチア山脈の南方で暮らした、イギリス系移民の持ち込んだ民謡やバラッドといった音楽がベースになっています。そこでは、アフリカ系アメリカ人との交流もあり、ゴスペルやブルースといった音楽の影響も強く受けています。1930年代からは、白人労働階級の音楽として発展し、現代でもなおアメリカ南部を中心に多くのファンがいます。

カントリーという名称が定着するのは、1940年代に入ってからです。それまでは、「アパラチアン・ミュージック」や「マウンテン・ミュージック」、「ヒルビリー」、「カントリー&ウエスタン」などと呼ばれていました。

カントリーの音楽的特徴

カントリーは、比較的シンプルなハーモニーで、日常を歌にしたものから流行歌まで、幅広い音楽性を持っています。音楽的特徴としては、ギターやベース、ドラムのバンドの基本的な使用楽器とともに、弦楽器を多用することが挙げられます。カントリーの楽器といえば、フィドル、バンジョー、ギターです。フィドルとは、ヴァイオリンのことですが、カントリーやフォーク、民族音楽といったクラシック以外の音楽で用いられる場合には、フィドルと呼ばれています。



カントリーのミュージシャン

ジミー・ロジャーズ(1897 - 1933)

初期のカントリーミュージックの創始者と呼ばれるジミー・ロジャーズは、ブルースにスイスのヨーデルを組み合わせた「ブルーヨーデル」という独特の歌唱法で広く知られています。活躍した期間こそ、1920年代後半から急逝した1933年までと長くはないのですが、その後発展していくアメリカのロックやポップスシーンに、大きな影響を与えました。

ウィリー・ネルソン(1933 -)

1975年に、『Blue Eyes Crying in the Rain』でビルボード誌カントリー・チャート1位を獲得して以来、数々のヒット曲を放ったウィリー・ネルソンは、カントリー音楽シーンを中心に常に第一線の活動を続けています。フォークやロック、R&B、ジャズのミュージシャンと交流し、カントリーに留まらない楽曲を多数発表し、アメリカを代表するアーティストとして広い支持を受けています。



カントリーの名曲

TAKE ME HOME, COUNTRY ROADS

アメリカのシンガーソングライター、ジョン・デンバーの歌唱による1971年のヒット曲です。1974年には、オリビア・ニュートン＝ジョンがカバーし、日本のオリコン洋楽チャートで15週連続1位を獲得しました。日本語のカバーでは、アニメ映画『耳をすませば』の挿入歌『カントリーロード』として知る人も多いのではないのでしょうか。

You Are My Sunshine

1939年に録音された『You Are My Sunshine』は、カントリー・ミュージックの定番として歌い継がれている曲です。歌手であり、後にルイジアナ州知事となったジミー・デイビスと作曲家のチャールズ・ミッチェルの共作とされていますが、作曲については諸説あるようです。ナット・キング・コールやレイ・チャールズなど多くのアーティストがカバーし、日本でもTVCMなどで耳にする機会が多い曲です。



知識

カントリー・ミュージックの 誕生地

アメリカ合衆国バージニア州にある独立市「プリストル」は、1998年に同国議会の決議により、「カントリー・ミュージックの誕生地」と認められています。1927年に音楽ディレクターのライフ・ピアが、地元ミュージシャンの新人発掘オーディションを行い、後にカントリーの元祖と呼ばれるようになるカーター・ファミリーを録音デビューさせたのが、このプリストルなのです。市内には、「カントリーミュージック発祥の地ミュージアム」があり、カントリー・ミュージック発祥地連盟(BCMA)が結成され地域のカントリー・ミュージックの歴史の教育に尽力しています。



※主催者の都合で変更になる場合もありますので、あらかじめお問い合わせください。
 ※時間は開演時間です。 場 = 場所 定 = 定員 ※料金は断わりがない限り前売料金を表示します。
 ※会員 = 「千葉市文化振興財団 賛助会員」を表し、特に表記がない限り前売券のみの割引価格です。
 ※各施設のウェブサイト(ホームページ)も併せてご利用ください。(施設名などでご検索ください。)
 ※★印の催し物は開催館・ホールへお問い合わせください。 ※情報は令和5年4月25日現在のものです。

●新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期となる場合や施設の休館・休止がございます。詳しくは、主催者等に開催・開館の有無をご確認ください。

千葉市民会館

千葉市中央区要町 1-1

☎043-224-2431

<https://www.f-cp.jp/shimin.html>

【小ホール】

★木山裕策と歌声カルテットの

昭和歌謡コンサート

5/22(月)13:00

2,000円 会員 1,800円

当日 2,500円(全席自由)

千葉市文化センター

千葉市中央区中央 2-5-1

☎043-224-8211

<https://www.f-cp.jp/bunka.html>

【アートホール】

■第20回こぶしの会演奏会

5/20(土)14:00 ※要整理券

☎043-244-9133(こぶしの会)

■Luna Voce 結成 30周年記念

コンサート〜つなぐ〜

5/21(日)14:00

1,000円(全席自由)

lunavocemail@yahoo.co.jp

■ブラスバンド獅子座

コンサート 2023

5/28(日)18:00 無料

☎090-9856-9058(月村)

【スタジオ I】

★潮見佳世乃歌物語コンサート

「おらと海・デゴイチ物語」

5/27(土)14:30

4,000円 会員 3,600円

当日 4,500円(全席自由)

千葉市南部青少年センター

千葉市中央区白旗 1-3-16

☎043-264-8995

<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/s>

[hogaigakushu/shogaigakushu/na](https://www.city.chiba.jp/kyoiku/s)

[mbuseishonen/newkawa.html](https://www.city.chiba.jp/kyoiku/s)

休:月・祝(月が祝日の場合は火も)

年未年始

★春のヨガ入門(全3回)

5/13(土)20(土)27(土)

13:30 ~ 15:00

無料 定:12名(抽選)

16歳以上の方

※要事前申込

(4/5(水)~13(木)に電話受付)

千葉市生涯学習センター

千葉市中央区弁天 3-7-7

☎043-207-5823

<https://chiba-gakushu.jp/>

【2F ホール】

★5月月曜名画座

「巴里のアメリカ人」

5/1(月)

①10:00 ~ 11:55②14:00 ~ 15:55

無料 定:各回 300人(先着順)

※上映開始 30分前から会場で

整理券を配布(1人1枚)

★5月木曜名画座

「嵐が丘」

5/18(木)

①10:00 ~ 11:45②14:00 ~ 15:45

無料 定:各回 300人(先着順)

※上映開始 30分前から会場で

整理券を配布(1人1枚)

【地下 1F 小ホール】

★5月親子アニメ上映会

①・うごくえほんチルビー

「あっちゃんのはたけ」

「きいちゃんのひまわり」

・日本の昔ばなし ふるさと再生

「こぶとり爺さん」「たにし長者」

「魚女房」「ほら吹き娘」

②・世界名作アニメーション

「三匹の子ぶた」

5/27(土)

①10:00 ~ 11:00②13:00 ~ 14:00

無料

定:各回 50人(先着順)

※上映開始 30分前から会場で

整理券を配布

青葉の森公園

千葉市中央区青葉町 977-1

☎043-208-1500

<https://www.cue-net.or.jp/kouen/>

aoba/

【工作教室】

※開催日の1か月前から電話・窓口

にて申込受付

場:つくしんぼの家

☎043-208-1506

★カーネーションで作る

ブードルフラワーアレンジメント

5/3(水・祝)13:30～15:00

800円 定:12名

小学生

★おさるのグラグラ危機一髪

5/21(日)

①10:30～11:30②13:30～14:30

500円 定:各回10名

年中～小学3年生

【緑の教室】

※開催日の1か月前から電話・窓口

にて申込受付

場:緑の相談所

☎043-208-1510

★栽培のプロに聞くハーブの育て方

5/13(土) 9:30～11:30

300円 定:24名

★開花株から始めるクレマチスの

楽しみ方

5/20(土) 9:30～11:30

300円 定:24名

★バラの年間管理の仕方～日常の

手入れ、病害虫防除、施肥等

5/24(水) 9:30～11:30

300円 定:24名

千葉県立中央博物館

千葉市中央区青葉町 955-2

☎043-265-3111

<http://www2.chiba-muse.or.jp/>

NATURAL/

開:9:00～16:30(入館は16:00まで)

休:月(月が祝日の場合は翌平日)、

5/9(火)は臨時休館、年末年始

料:一般300円 高・大生150円

中学生以下・65歳以上・障害者

手帳等お持ちの方及びその介護

者1名は無料

※生態園は無料

【展示】

★春の展示「ちばの植物 探・検・隊!

-さあ、植物を調べる旅に出よう-

3/11(土)～5/28(日)

★関連行事

青葉の森公園観察会

5/14(日)10:00～12:00

定:15名(要事前申込)

料:50円(保険料)

★トピックス展

「千葉の外来昆虫最前線」

4/29(土)～6/18(日)

★生態園トピックス展

「生態園の意外な動物たち」

2/28(火)～6/4(日)

場:生態園オリエンテーションハウス

千葉県美術館

千葉市中央区中央 3-10-8

☎043-221-2311

<https://www.ccma-net.jp/>

開:日～木 10:00～18:00

金・土 10:00～20:00

休:第1月曜日(祝日の場合、翌日)

年末年始

※詳細はお問合せください。

【企画展】

★「『前衛』写真の精神:なんでも

ないものの変容 瀧口修造・阿部

展也・大辻清司・牛腸茂雄」

4/8(土)～5/21(日)

一般1,200円 大学生700円

※小・中学生、高校生無料

★「実験工房の造形」

4/8(土)～5/21(日)

一般500円 大学生400円

※小・中学生、高校生無料

※企画展「『前衛』写真の精神:

なんでもないものの変容」をご覧

の方は無料

★つくりかけラボ 11

金田実生 | 線の王国

4/17(月)～7/2(日) 無料

【常設展】

★千葉市美術館コレクション選

一般300円 大学生220円

※企画展観覧の方は無料

千葉市民ギャラリー・いなげ

千葉市稲毛区稲毛 1-8-35

☎043-248-8723

<https://galleryinage.jp/>

開:9:00～17:15

休:月(祝日の場合、翌平日)

※詳細はお問合せください。

【市民の展覧会】

■思い出の絵クラブ水彩画展

5/2(火)～5/7(日)

■第19回稲毛水墨画展

5/9(火)～5/14(日)

■樹の会展

5/16(火)～5/21(日)

■植物画ポエムド・フルル

5/23(火)～5/28(日)

■鷹取久晴展

5/23(火)～5/28(日)

■第9回いちご会展

5/30(火)～6/4(日)